

書類作成上の手引き ー専任・兼任

ー書類作成に当たってー

1. 専任教員の提出書類は、履歴書・業績書及び健康診断書の3種類、兼任教員の提出書類は、履歴書及び業績書の2種類です。ただし、外国籍の方は、外国人登録証明書又はビザの写しを添付願います。また、在留資格が「家族滞在」、「留学」、「短期滞在」等就労活動が原則として認められていない場合には、就労資格証明書を提出してください。
2. 上記書類は、本学指定の用紙を使用してください。
3. 書類の年号は、「西暦」を使用してください。
4. 書類の氏名欄は、「手書き」で記載してください。
5. 書類の各記入事項等項目において、記載する事柄がない場合には「なし」と記入してください。

【 履 歴 書 】

1. 学歴・資格

- (1) 学歴は高等学校から記入し、卒業・修了・退学のすべてについて記入してください。
- (2) 学位論文提出のため、「再入学」をした場合は、学歴欄にその旨を記入してください。
- (3) 外国留学について、学生としての留学の場合には「学歴」欄に記入してください。
- (4) 大学院修了については、以下のとおり記入してください。

在学期間を明確にし、博士前期・後期，研究科，専攻名まで記入してください。

① 「修了」

- ② 「退学（単位修得）」「退学（○年間在学）」と記入する場合、単位制度の存廃の状況によって記入例が異なります。

<本学大学院（博士後期課程）出身者>

- ・ 1975年度以前の入学者
 - ア：単位を修得している場合……………「退学（単位修得）」
 - イ：単位を修得していない場合……………「退学（○年間在学）」
- ・ 1976年度以降の入学者……………「退学（○年間在学）」

<本学以外の大学院（博士後期課程）出身者>

その大学の例にならって「退学（単位修得）」または「退学（○年間在学）」のいずれかを記入してください。

③ 「在学中」と記入する場合

- ・ 履歴書提出の段階で在学中の場合は、「在学中」と記入してください。
- ・ 履歴書提出以後、退学が予定されている場合についても、「退学予定」または「退学見込」とはせず、全て「在学中」と記入してください。

- (5) 履歴書提出以後、大学院を修了または退学した場合には、その旨の証明書を提出してください。

2. 学 位

修士・博士の学位については、下線部に研究科及び専攻名を記入してください。

また、取得大学名及び取得年月日の記入の他、「課程」又は「論文」のいずれかに○を付けて

ください。なお、学位名については、取得年月日により以下のとおり異なります。

<1991年7月以前に学位を取得した場合>

〇〇学修士，〇〇学博士と，専攻分野の名称を冠して記入してください。

[記入例] 法学修士，政治学博士

<1991年7月以降に学位を取得した場合>

修士（〇〇），博士（〇〇）と，専攻分野の名称を（ ）内に記入してください。

[記入例] 修士（経済学），博士（工学）

3. 受賞

国外で受賞している場合は，日本語で一般的に通用する名称を記入の上，原語での名称を（ ）で付記してください。

4. 現在の勤務先での職務の状況

(1) 記入日現在における担当科目，役職等の職務の状況について記入してください。

(2) 教員以外の方は，勤務先，職名及びその職務内容を記入してください。

5. 職歴

(1) 職歴は，就任年月日順に記入してください。

(2) 勤務先の名称・所属・資格も記入してください。

なお，教員歴の資格は，専任・兼任もしくは非常勤の別を明記してください。

[記入例] 〇〇大学〇〇学部専任講師

〇〇大学〇〇学部非常勤講師

(3) 職歴は，教員歴以外についても必ず全て記入し，在職期間を正確に記入してください。また，無職の期間については，「無職」と記入してください。

(4) 現職については，「〇〇〇〇・4 ～ 現在に至る」と明記してください。

(5) 研究者として留学した場合は，「職歴」欄に記入してください。

(6) 独立行政法人日本学術振興会による特別研究員の採用を受けた場合は，「職歴」欄に記入してください。

(7) 過去に，大学設置・学校法人審議会（旧大学設置審議会を含む。）で受けた判定がある場合は，「職歴」欄に当該教員組織審査に係る大学名，審査年月日，専任・兼任，職名及び担当授業科目名（大学院にあっては判定結果（〇合・合・可を含む。）を記入してください。ただし，学内審査は対象になりません。

【業績書】

1. 学会及び社会における活動等

－学会における活動－

(1) 現在，所属している学会及び過去に所属していた学会の名称を，加入した年月順に記入してください。

(2) 学会において役員等を務めている場合又は過去に勤めていた場合には，その職名を（ ）内に記入してください。退会の場合には，その年月も（ ）の中に記入してください。また，所属学会名は，正確に記載してください（日本〇〇〇学会，西日本〇〇〇学会等）。

(3) 学会等の第〇〇回大会などの開催地における一時的な役職は記入しないでください。ただし，国際学会の場合には記入してください。

(4) 記入例

a 1980年4月 △△学会会員（1989年3月まで）

- b 1983年4月 ○○学会会員（1985年4月から1991年3月まで評議員）
- c 1985年4月 ▽▽学会会員（1992年4月から常任理事）
- d 1998年4月 ○○学会○○委員会委員（現在に至る）

－社会における活動－

- (1) 本人の専攻、研究分野等に関連した事項について、全国的又は都道府県における活動及び学会に準じる程度の水準や規模における活動について記入してください。
- (2) 記入例
 - a ○○省○○委員会委員（19○○年まで）
 - b ◎◎市◎◎委員会委員（現在に至る）
- (3) 社会における活動の実績について、内容を簡潔に記述してください。

2. 教育上の実績に関する事項

担当授業科目に関連する事項を、年月日順（過去→現在）に簡潔（200字以内）に記入してください。なお、記入の際は下記の項目例を参照してください。

(1) 教育方法の実践例

優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取組み、講義内容のWeb上での公開など、独自に開発・実践されている方法や新しく試された方法、工夫されている事項など、教育方法の具体的な実践例について記入してください。

- ① 優れた教育方法の実践例：英語による授業、少人数教育、小テスト、レポートによる持続的教育、問題発見、課題解決型授業の実施
- ② マルチメディア機器を活用した授業方法：コンピュータ、ビデオ、スライド等の視聴覚教材を活用し理解を深める等の取組
- ③ 学生の授業外における学習促進のための取組：授業に関するアンケートの利用（講義実習評価結果の活用）、シラバス等の工夫

(2) 作成した教科書、教材

作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要や利用方法について記入してください。（「著書、学術論文等」と重複があっても可です。その場合「著書・学術論文等の名称」の欄に『（再掲）』と明記してください。）

(3) その他

- ・ 大学教育改善に関する団体等での活動の概要
 - ・ 教育実績に対する授賞歴、
 - ・ 国家試験問題の作成、
- 等、様々なことを記入してください。

3. 研究上の活動に関する事項

(1) 現在の研究テーマ

(2) 科学研究費等外部研究費の取得状況

科学研究費等外部研究費の取得及びその研究内容の概要について記入してください。

(3) 他研究機関との共同研究の実績等

大学との共同研究による共同実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割等を記入してください。

(4) その他

大型研究費の審査委員等について記入してください。

4. 職務上の実績に関する事項

教育・研究に関連する事項を、年月日順（過去→現在）に簡潔（200字以内）に記入してください。なお、記入の際は下記の項目例を参照してください。

(1) 資格・免許

- ① 学位、称号のほか、医師、教員等の免許、危険物取扱者等の資格の記載及びその登録番号を（ ）内に付記してください。

[記入例]

a 平成5年3月 高等学校教諭一種免許状（数学，平〇高一種第〇〇号・〇〇教育委員会）

b 昭和55年5月 医師免許証（第〇〇号）

- ② 外国における資格については、正確に記入するとともに、その資格の内容について併記してください。

(2) 特許等

- ① 取得した特許等の概要。〔出願番号又は登録番号を（ ）内に付記する。〕

- ② 開発した新製品・製法，作物等の新品種などの概要。

(3) その他

例えば以下のように、上記(1)から(2)に該当するもの以外の事項や資料についても、必要に応じて幅広く記載・添付してください。

○ 職能団体等の第三者から、実務家としての卓越性に関して評価・推薦等がある場合

- ・ 職能団体等の名称，代表者，目的，業務
- ・ 論文の引用実績 等々

5. 著書，学術論文，翻訳書等の名称及び作品，研究発表題名

- (1) 著書，学術論文，その他の順に適切に区分し，当該見出しを記入してください。また，その区分ごとにそれぞれ年月日順（過去→現在）に番号を付して記入し，著書等がない場合には，「著書無し」と記入してください。

- (2) 学術論文は，<査読有り>と<査読無し>に分けてください。

- (3) 審査対象となる業績で発行・発表が予定段階のものについては，「発行（発表）予定」と記入し，「初校済」もしくは「校正済」と記入してください。

- (4) 辞書は「著書」に，学位論文・判例批評等は「学術論文」に，翻訳・研究報告等は「その他」に記入してください。ただし，学術論文を著書として発表している場合には，「著書」欄に記入してください。

- (5) 博士の学位論文については，論文題目の末尾に「(学位論文)」と記入・表示してください。

- (6) 「著書」，「学術論文」，「その他」で，担当授業科目に関連する主要なもの以外は，それぞれの最後に「他〇〇編」と記入してください。

6. 単著，共著の別

- (1) 単著，共著の区分をそれぞれ「単著」，「共著」と記入してください。なお，「同上」，「同」又は「〃」を使用しないでください。

- (2) 1冊の本を数人で執筆した場合は，当該部分は単著であっても「共著」と記入してください。

7. 発行，掲載又は発表の年月日

著書，学術論文等の発行・発表の年月日を西暦で記入してください。

8. 発行所, 発表雑誌, 掲載誌名等又は発表学会等の名称

- (1) 発表学会誌等は, その名称の他, 巻・号 (又は VOL. No.) 等まで明記してください。
- (2) 学術論文等については, 単著, 共著とも発表雑誌等における掲載ページを記入してください。
- (3) 学会誌等において発表予定のものについては, その旨を明記し, 証明書を添付してください。なお, 投稿予定のものは含めないでください。

9. 概要

- (1) 事項ごとに 200 字以内で具体的に, 明確かつ簡潔に記入してください。
なお, 兼任講師の方は, 主要なもの 3 編以上について記入してください。
- (2) 共著の場合は, 全体の概要とともに, 本人の担当部分の概要及び掲載頁 (p. ○○-p. ○○) を明記し《単著の場合は総頁数》, 本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書, 学術論文等に記載された順 (例: 編者△△△△, 分担執筆 ○○○○, □□□□, ××××) に記入してください。

なお, 本人の担当部分を抽出することが困難な場合は, その理由を明記してください。

(例・共同研究につき本人担当部分抽出不可能)

また, 筆頭論文である場合は, その旨を明記してください。

- (3) 「作曲」に係る業績については, 出版の日付と発行所及び初演の日付と会場を記載してください (再演については不要です。)。また, 作品集を提出する場合は, 別途 1 部用意してください。なお, 作品集については返却が可能ですので, 提出時にその旨申し出てください。

10. その他

外国人の場合は, 母国語で記入して差し支えないですが, その場合は訳文を添付してください。

以 上

写真貼付欄
(4cm×3cm)
必ず証明写真を
貼付すること。ス
ナップ写真、画像
印刷等は不可。

履 歴 書

記入例

(記入年月日 ○○○○年△月△日)

ふりがな	めいじ たろう	男 女
氏 名	明治 太郎	Ⓓ
生年月日	○○○○年○月○日生	(○○歳)

ふりがな	とうきょうと ちよだく かんだするがだい	国 籍
現住所	東京都千代田区神田駿河台1-1 〒101-8301 TEL 03-○○○○-○○○○	日 本 国

学 歴 ・ 資 格	修学期間 (年・月)	卒・修・退・在学
東京都私立□□大学附属□□高等学校	○○○○年3月	卒 業
□□大学○○学部○○学科	○○○○・4～○○○○・3	卒 業
□□大学大学院○○学研究科○○学専攻博士前期課程	○○○○・4～○○○○・3	修 了
□□大学大学院○○学研究科○○学専攻博士後期課程	○○○○・4～○○○○・3	修 了
	・ ～ ・	
	・ ～ ・	
	・ ～ ・	
	・ ～ ・	
	・ ～ ・	

学 位	① 修士 ○○学修士 (□□ 大学) ○○○○年3月○○日 取得
	② 博士 (課程・論文) ○○学博士 (□□ 大学) ○○○○年3月○○日 取得

主 な 受 賞 ・ 表 彰 等	受賞年月日	賞の名称	授賞機関名
	○○○○年○月○日 ○○○○年○月○日	日本□□科学学会賞 東京△△新聞□□学図書賞	日本□□科学学会 東京△△新聞

(専任・特任・客員・兼任)

氏 名	⑩
-----	---

現在の勤務先での職務の状況	
〇〇〇〇年〇月〇日～〇〇〇〇年〇月〇日	□□大学〇〇学部学生部委員
〇〇〇〇年〇月〇日～〇〇〇〇年〇月〇日	□□大学〇〇学部〇〇学科長
〇〇〇〇年〇月〇日～ 現在に至る	□□大学〇〇学部長

職 歴 (業績は別紙)	
年 月 日～ 年 月 日	
〇〇〇〇・４・１～〇〇〇〇・３・３１	□□大学〇〇学部専任助手
〇〇〇〇・４・１～〇〇〇〇・３・３１	□□大学〇〇学部専任講師
〇〇〇〇・４・１～〇〇〇〇・３・３１	△△大学〇〇学部非常勤講師
〇〇〇〇・４・１～〇〇〇〇・３・３１	〇〇〇〇大学〇〇学部兼任講師
〇〇〇〇・４・１～〇〇〇〇・３・３１	□□大学〇〇学部助教授
〇〇〇〇・４・１～ 現在に至る	□□大学〇〇学部教授
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	
. . . ~ . .	

記入例

業績書（専任・兼任）

（記入年月日 年 月 日）

		氏 名	⑧
学会及び社会における活動等			
年 月	事 項		
1995年5月 1998年4月	<p><学会活動></p> <p>〇〇学会会員（19〇〇年まで）</p> <p>◎◎学会会員（現在に至る）</p>		
1996年4月 1998年4月	<p><社会における活動等></p> <p>〇〇省〇〇委員会委員（19〇〇年まで）</p> <p>◎◎市◎◎委員会委員（現在に至る）</p>		
教育上の実績に関する事項		年 月	概 要
教育方法の実践例		〇年〇月～現在	<p>〇〇学実習において学生に〇〇を経験させることにより、〇〇の向上に効果を挙げている。</p> <p>教材としてビデオを活用し、学生の理解度を把握するために、毎時間ごとに小テストを実施した。</p>
作成した教科書、教材		〇年〇月	<p>〇〇学教育にふさわしいテキストがないために、外書の〇〇を翻訳・編集して〇〇として作成した。</p> <p>〇〇大学非常勤講師時に、同じ科目をオムニバスで担当する教員と共同して教材を作成した。（教科書等の概要を記載）</p>
その他			

	氏 名	⑩
研究上の活動に関する事項	年 月	概 要
現在の研究テーマ		
科学研究費等外部研究費の取得状況		
他研究機関との共同研究の実績等		
その他		
職務上の実績に関する事項	年 月	概 要
資格, 免許	○年○月	中学校教諭 1 級普通免許 (○○県教育委員会 昭○○中 1 普第○○○号)
特許等	○年○月	特許内容を記載。 (特許第○○号)
その他		

(業績書 専任・兼任)

			氏 名	⑨
著書, 学術論文, 翻訳 書等の名称及び作品, 研究発表題名	単著, 共著 の別	発行, 掲載, 発表の年月日 (西暦)	発行所, 発表雑誌, 掲載誌名等又は発 表学会等の名称	概 要
(著書) 1 ○○○○○○ 2 ○○○○○○	単著 共著	2001年○月○ 日 ○○○○年○ 月○日	○○○出版 総 p. ○○ ◎◎◎書店 p. ○○-p. ○○	(記載上の注意) ○それぞれの業績の概要を 200 字以内で簡潔に 記載すること。 ○共著の場合, 概要及び分担課題の内容を 200 字以内で簡潔に記載すること。また, 共著者 名は, 全員記載すること。ただし, 多数の共 著者がいる場合は, 本人の名前が出てくるま で記載し, 以下の共著者は「ほか○名」と記 載すること。本人の名前には, 下線を入れる こと。 共著者: <u>明治太郎</u> , 山田花子 共著者: 昭和進, <u>明治太郎</u> , ほか 10 名 ○著書については, 総ページ数を記載すること。 また, 共著の場合, 分担した部分について, 「p. ○○-p. ○○」のように記載すること。
(論文一査読有り) 1 ○○○○○○	単著	○○○○年○ 月○日	○○学会雑誌 ○巻 (○号) p. ○○-p. ○○	
(論文一査読なし) 1 ○○○○○○	共著	○○○○年○ 月○日	○○大学紀要 ○巻 (○号) 総 p. ○○	
<学会発表>	単独 共同	○○○○年○ 月○日 ○○○○年○ 月○日	○○学会○○研究 会 第○回○○学会	
(その他) <書評> <翻訳> <辞書> <科学研究費報告> など				